

迎春



きりっと“決めポーズ”

すくすくと成長していく子どもたちは大山町の宝です。(写真は大山きゃらぼく保育園発表会での1コマ)

広報

大山の恵みを受け継ぎ、
元気な未来を拓くまちづくり

主な内容

新年のごあいさつ	2
新しい民生委員・児童委員が決まりました	3
未来づくり10年プラン	4~5
みんなでやらいや！まちづくり活動報告	6~7
きょういく通信	8~12
うるおい通信	13
人権のつぼ	14
診療所待合室・こころの健康コーナー	15
認知症～一緒にいるから大丈夫～	16
まちの話題	17~18
お知らせ	19~23

だい
せい
せん

1
2014
No.125



大山町長
森田増範

謹賀新年

あけましておめでとうございます。

皆さまには、お元気で初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、昨年も全国各地に集中豪雨・竜巻などが発生しました。被災地の一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

一昨年12月の政権交代により安倍政権が誕生し、成長戦略・税と社会保障制度の一体改革による消費税8%の実施、新しい農政への変革、国保や子育て支援制度の検討・推進等、その取り組みがスピード感をもって進んでいます。地方自治を預かる者として、これらの取り組みに対し、正しい情報を得ながら要望・意見を届け、また実施へ向けて的確に対応してまいります。

昨年12月21日には、念願の「山陰道町内全線開通」が実現しました。地権者をはじめ関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。こ

れにより、中山から大山を結ぶ町内移動がスムーズになり、一体感あるまちづくりが一層進めるものと思えます。

また、中山・名和・大山の3インターチェンジ付近には、子育て支援の拠点として保育園を建設し、今春4月には「名和さくらの丘保育園」が開園します。これらの保育園を中心とした各インターチェンジエリアで、それぞれの特色を活かした地域づくりを今後進めてまいります。

今年、新大山町誕生10年目を迎えます。これまで取り組んできた「大山の恵みを受け継ぎ、元気な未来を拓くまちづくり」によるさまざまな事業、また、活発化してきた老若男女の交流活動や地域づくり活動。これらを土台とし、さらなる住民参画による新たなまちづくりへ、「未来づくり10年プラン」の策定と実践へ向け、取り組みを本格化させます。

一つ一つ土を耕し、種をまき、育むように、引き続き住民の皆さまと官民一体となつて「大山の恵み」という魅力的な豊かな資源・財産（人財・自然・産業・歴史・文化）を活かし、皆が安心して暮らせる、そして若者が住み続けたいにぎわいのある元気な大山町を目指し、諸施策を実施してまいります。町民の皆さまのより一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

皆さまにとりまして、幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。

新しい民生委員・児童委員が決まりました

12月1日付で、厚生労働大臣から民生委員・児童委員58人と主任児童委員3人が新たに委嘱されました。

任期は、平成28年11月30日までの3年間で、地域に密着した幅広い福祉活動に携われます。

委員さんは、社会奉仕の精神をもって活動していただく無報酬のボランティアです。具体的には、住民の皆さんが抱える生活上の問題や、

高齢者・児童福祉等の相談に応じたり、助言や情報を提供したりします。また、援護が必要な方の見守りや、地域と行政とのつなぎ役としてもお世話いただきます。

各委員さんの担当地区は、次のとおりです。

なお、今回の改選にあたり、担当区域の一部を変更していますので、あわせてご確認ください。

集落名	改選前
香取	圓田委員 (中山地区)
香取弥生	二宮委員 (名和地区)
大山口団地	宮原委員 (大山地区)
新栄	小原委員 (大山地区)



集落名	改選後
香取	石原委員 (大山地区)
香取弥生	石原委員 (大山地区)
大山口団地	山根委員 (大山地区)
新栄	宮原委員 (大山地区)

◆問い合わせ先 福祉介護課 ☎ 0859-54-5207

(中山地区)

氏名	担当地区
澤田 宗博	羽田井・萩原
山内 秀穂	束積・八重
赤川 勲永	樋口・石井垣
江原 英昭	潮音寺・栄田・春日・因ノ庄・ナスパルタウン
當別當 加代子	内蔵・中山口・阿弥陀山・金屋
前田 好子	下田中1区・2区・浜ノ上団地・中林
野口 勇	植松・南御崎・北御崎・山陸団地
小谷 貴美子	下甲・赤坂・曲松
樋口 文子	退休寺・報国・さざんか台団地
福留 邦彦	高橋・殿河内
山本 尚三	上市・下市駅前・中池谷・西住吉
手島 弘美	塩津・中尾・住吉
齊尾 清	岡・下市
井上 アツ子	松河原
井上 廣信	長野・庄田
圓田 章三	林之峯・大中尾・二本松
岩本 正人	主任児童委員

(名和地区)

氏名	担当地区
杉原 雄嗣	富長東・中・西
吉本 信裕	古御堂・文珠領・古原
押村 克彦	茶畑・押平・中村
小川 美佐江	東・西・上・新・南高田
松田 渡	押平1区・上福
西山 禮子	押平2区・3区
谷 貞美男	塚根・大塚・福田・大雀・千歳
清郷 雅秋	坪田1区・2区・3区・新坪田
大原 毅	梶原・東谷・門前
荒松 豪	旧奈和・栃原・渡道
永井 義曉	下大山・上大山・営団
佐伯 照博	御来屋東区・1区・のぞみ区
橋本 圭子	御来屋2区・3区・港区

(敬称略)

諸遊 雅照	御来屋4区・5区・6区
岩波 宏承	御来屋7区・8区・9区・10区・11区
浅田 良一	御来屋南区・みどり区
二宮 正博	上前谷・下前谷
河崎 和子	上木料・下木料
谷野 昭義	倉谷・小竹・峯小竹
金田 多恵子	上坪東・上坪西・八景台
木口 和志	下坪
森安 幹人	西坪・駅前・ひかりが丘
二宮 くに子	陣構・楽仙・神田
小谷 篤子	主任児童委員

(大山地区)

氏名	担当地区
谷野 俊紀	上万・平田
森本 義輝	安原・保田・富岡・あずみの郷
水野 敏郎	妻木・稲光
遠藤 修	長田・荘田
山根 美和子	上野・福尾・大山口団地・新団地
宮原 幸子	大山口・新栄
杉野 真知子	所子・平木・神原・上中高・栄
浅田 妙子	中高2区・西区
貝谷 みか	中高1区・3区
小原 淳一	野田・清原・唐王・末長
谷尾 良	末吉・国信
兜山 正伸	大山
金尾 孝一	前・飯戸・種原・明間・あけまの森
中田 眞理	蔵岡・別所・原・畑
荒金 恵美子	佐摩・今在家・今在家住宅
大森 照子	坊領
馬田 眞壽美	平・宮内
高塚 利夫	赤松・中楨原・美野留・下楨原・一の谷・大谷
石原 恵子	香取・香取弥生・香取上・香取下
吉木 幸恵	主任児童委員

「大山町未来づくり10年プラン」 （総合計画）の策定を開始しました!!

ステップ
「step1」から「step2」へ

本町では、10年に1度、総合計画を策定することになっています。

これは、今後10年間、大山町はどんな町を目指し、実現させるためにはどうするのか、さまざまな分野にわたって計画したもので、本町の行政は、この計画に基づいて運営されています。

平成17年3月28日に旧3町が合併して新大山町が誕生しました。本町発展のための「step1」として、平成18年6月に、「大山の恵みを受け継ぎ、元氣な未来を拓くまちづくり」を基本理念とした「大山町総合計画」を策定しました。

社会基盤・生活環境の整備、教育、保健・医療・福祉の充実、産業の振興、住民自治の推進など、その成果は多岐に及びます。

こうした成果を土台に、本町のさらなる発展へ向けた「step2」として今年度より、平成28年度から始まる10年間の総合計画の策定に取り組みます。

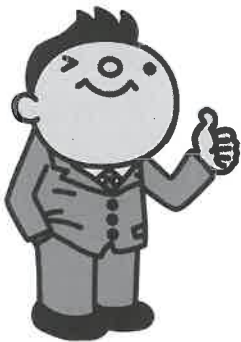
本町初の試み
計画づくりは「人財づくり」

計画の策定には、素案作成の検討段階から、役場職員だけでなく町民の積極的な参加と話し合いを行い、内容を検討します。

具体的には、本町における今後の人口の動向、財政状況を踏まえながら、大山町の未来のために何をすべきかを議論することから始めます。

両者がともに、今後10年の未来図を描きます。未来図は「自分たちの計画」です。その実現に向けて動くことが「計画づくり」は「人財づくり」へと繋がります。

この繋がりは、本町のまちづくりのために立ちあがり活動している団体や組織をさらに発展させます。



5つの手法を駆使

(左ページ参照)

手法① 住民ヒアリング

まちづくりに興味・関心のある人や、その活躍の場所を求めている人を探し出し、どんなまちづくりがしたいと思っているのかを聞くと同時に、計画策定への参加を呼びかけます。

手法② 「素案策定委員会（＝町民会議）」の設置

町民、役場職員で組織を設置し、教育、福祉、産業など分野ごとに分けたチームを作ります。

手法③ 協働先の明確化

作成された素案を提示し、さらに内容を検討することで、自分たちの進めべき事業は、どの部署と協働すればよいかを明確化します。

手法④ 魅力的な計画書のデザイン

計画書を手にとって読んでいただけよう、また、目を通した方が「まちづくりを実践したい」と思うデザインにします。

手法⑤ 職員の意識改革

策定された計画を実行するには、役場職員の有している能力を最大限引き出すことが不可欠です。そのため、自由な発想で、今後10年の行政はどうあるべきかを常に考え仕事ができる職員を、この過程を通じて育成します。

スタジオオエル
studio-oel
ノウハウを活用

5つの手法で総合計画を策定するにあたり、「株式会社 studio-oel」のノウハウを活用します。

同社は、地域の課題解決や未来づくりを地域に住む人たちが実践するためのコミュニケーション・デザイン、「人と人をつなげる仕組みづくり」に携わっています。その手法についての専門的な知識、技術、経験を有しており、その実績は全国で高く評価されています。

同社の設立者で、コミュニケーション・デザイナー・山崎亮氏の活動は、日本全国で注目され、テレビ番組「NHKクロースアップ現代」や「情熱大陸」でも大きく取り上げられています。

著書『コミュニティデザイン』『まちの幸福論』『コミュニティデザイン』の時代』など、多数執筆されています。

「大山町未来づくり 10年プラン」の策定について(概要)

「大山の恵みを受け継ぎ、元気な未来を拓く
まちづくり」のさらなる進展

Step2 “実践”

魅力的な
計画書のデザイン

協働先の明確化

素案策定委員会の設置

5つの手法を駆使
～計画づくりは“人財”づくり～

住民ヒアリング

職員の意識改革

Step1

大山恵みの里構想

(平成18年6月策定総合計画)

計画策定プロセス第1弾!! 「職員の意識改革」

11月11日、コミュニティデザイナー
山崎亮氏(株式会社studio・L
代表)を講師に招き、役場職員を対象
に意識改革研修を行いました。

研修では、本町の最上位計画である
「未来づくり10年プラン」(総合計画)
策定の重要性について共通認識を深
め、大山町の置かれている現状と、こ
れからの基礎自治体で働く公務員の役
割を学びました。

講師の山崎氏は、「地方の少子高齢
化、人口減少社会は悲観することでは
ない。こうした現状を乗り切り、安全・
安心な暮らしと、若者が自己実現でき
る町の仕組みづくりができた自治体が
生き残る」と話しました。



▲研修は、今後も続きます

また、「人口減、経済の成熟期を迎えた社会に求められる公務員の役割を果たすには、ありたい未来を設定し、実現のためにしなければならないことを逆算式で考えながら仕事をすることが不可欠だ。素案策定委員会へ参加し、町民と胸襟を開いて語り合い、未来を描くことは、それを学ぶ良い機会。21世紀の大山町を支える公務員となるためのステップになる」と熱弁をふるいました。

この研修会の後、素案策定委員会に参加する職員を決定しました。これから、皆さんと取り組んでいきます。

今後の予定

今年度は、町とstudio・Lが連携し、地域住民のヒアリングを随時行います。

2月頃には「素案策定委員会」への参加を町民に広く募ります。新年度からは会議をスタートさせ、おおむね1年間かけて素案を策定する予定です。この計画づくりの進捗については、広報等でお知らせします。

◆問い合わせ先

企画情報課・未来づくり戦略室
☎ 0859・54・5202

みんなであらいや!

「まちづくり活動報告」(第24回)



▲手巻き寿司に挑戦

和やかに 「学びの里 甲川まつり」

11月17日(日)、学びの里 甲川(旧上山保育所)で「つどう、にぎわう、うるおう」をテーマに「学びの里 甲川まつり」を行いました。

この催しは、町の自主組織活動支援事業(モデル事業)を活用し、まつりの事務局、企画立案、当日までの準備等を「まちづくり 上中山地区会議」や「わたぼうしの会」、「麦の会」などで構成する実行委員会で担いました。

当日は、物産の販売、お米の試食会、絵本の読み聞かせなど、子どもから大人まで楽しめるコーナーを設け、地域のみなさんをお迎えしました。

会場には、300人の方が集い、まつりは大盛況に終わりました。

今後、地域の皆さんに喜んでいただける催しを行い、住民主体で行うまちづくり活動の認知度を高めながら、協力者や賛同者を募り、将来的には、上中山地区を支える地域づくり組織を設立したいと考えています。



▲熱く語る峙さん

まちづくり御来屋地区会議

「峙さんの講演会」と「昔の写真のスライドショー」で、昔を懐かしみました!

まちづくり御来屋地区会議では、御来屋の歴史を伝えることや、ふるさとを想う気持ちを育むことを目的に、御来屋3区の峙佑志郎さんを講師に「御来屋の成り立ち」と題して講演会を行いました。

峙さんには、隠岐島を脱出した後醍醐天皇が御来屋へ着かれたことから始まり、現在に至るまでをお話していただきました。御来屋の発展には、藩倉の存在が大きな役割を果たしたことや、御来屋駅ができるまでのエピソードなど、参加された方は峙さんの話しに聞き入り、あつという間に時間が過ぎていきました。

講演終了後は、御来屋地区を撮影した古い写真をスライドにして上映。皆さんは「懐かしいなあ」とか、「へえ、昔はそげだつたか」など感心することしきりでした。

まちづくり御来屋地区会議では、「御来屋のお話会」など、今後ふるさとを伝える機会を計画します。

「ふれあいの郷かあら山」

1周年記念感謝祭

高麗地区の「ふれあいの郷かあら山」は、昨年12月に、住民自らの手で地域づくりを實行する「地域自主組織」を設立し、1周年が経過しました。

11月30日(土)に記念の感謝祭を行い、地区内外から約100人が参加しました。各部長からの活動報告のほか、琴の演奏、短歌、コーラス、料理コンテストなど、かあら山委員や出演者の方々の趣向を凝らした催し物に、来場者は「見て・聞いて・食して」と、感謝祭を楽しんでくださいました。

「ふれあいの郷かあら山」は、現在、営業しているサロン(コーヒー、お茶、食事などを提供)を中心に、週1回の健康体操、子どもたちの居場所、高麗地区の歴史・芸術品の展示会などを施設内で行っています。

なかでも健康体操は、オープンしてからの延べ利用者が180人を越え、少しずつですが、地域住民さんの抛り所、交流の場、健康維持の施設として定着しつつあるようです。

今後、地域の皆さんのまちづくり活動の拠点として、お盆と年始年末、第2第4水曜日を除き、午前9時から午後5時半まで毎日開館します。



▶ 琴の演奏に心が和みました

*まちづくり活動団体の活動を知りたい方、連絡を取りたい方は、企画情報課未来づくり戦略室へ、お気軽にお問い合わせください。

◆問い合わせ先

企画情報課 未来づくり戦略室
☎ 0859・54・5202

まちづくり庄内地区会議 「庄内ふるさと ふれあいウォーク」

まちづくり庄内地区会議では、庄内地区の方々に、地元をもっと知ってもらい、ふるさとを想う気持ちを育むことを目的に「庄内ふるさとふれあいウォーク」を11月30日(土)に行いました。

『スポーツしよい大山』の生田清さんを講師に、庄内の神社仏閣などの解説を交えながら歩いて巡りました。富長神社をスタートして、庄内地区の北側を中心に、約2万歩(4キロ)歩きました。

当日は、日差しもあり、穏やかな気候で、気持ちいい汗をかくことができました。参加者からは「こんな場所があるとは知らなかった」などの声があり、庄内再発見のウォーキングは好評でした。

今度は、庄内地区の南側を計画しますので皆さん参加してください。



▶ 茶畑神社



▶ 富長神社

中山中学校レポート!

家庭学習の習慣化に向けて〜家庭学習強化月間の取組〜

この時間はすべての教員が教室に出て、個別に質問に応じています。また、生徒たちが教え合う姿も見られます。

この日は、部活動も中止にしています。放課後勉強会での学習のペースを、そのまま家庭学習に結びつけることがねらいです。

(2) ノーメディア週間

本校では、長時間のテレビ視聴やそれにもなう睡眠不足などの生活習慣の改善と家庭学習の充実を目指して、平成22年度から定期テストの期間に合わせて「ノーメディア週間」を家庭と連携して取り組んでいます。

A ご飯の時はテレビを消す。

B テレビ、ゲームパソコンは1日0時間にします。

C 0時以降はテレビ、ゲーム、パソコンを消します。

D 1日中テレビ、ゲーム、パソコンはつけません。

上記のコースから、自分で選び、○印に数字を記入し7日間取り組みます。今年度も4回実施しました。

2学期の中間テスト前の取組では、それぞれのコースにチャレンジして目標を達成した割合は、平均して75%でした。

メディア漬けの家庭生活を改善し、自分でルールを決め、家庭学習に結びつける生徒が増えていくことを願っています。

【生徒の感想】

日曜日は、テレビをつけずにしっかり勉強できた。ご飯の時にテレビをつけなかったら、次の行動が早くできて良かった。

(3) 自主学習プリントの取組

1・2年生は、「インターネット教材」から問題をダウンロードし、生徒の学力に合わせたプリントを毎日配布

し、家庭学習として取り組んでいます。

3年生は入試問題集の範囲を決め、計画的に家庭学習で取り組んでいます。

また、「月別宿題予定表」を配布し、家庭との連携を図っています。

(4) 大山町版「家庭学習の手引き」の活用

今年度、大山町で作成した「家庭学習の手引き」を4月の学級開きから活用しています。家庭学習のポイントやノートのとめ方、家庭学習時間の目安などを参考にしています。

また、4月のPTA総会では、実際に「家庭学習の手引き」を保護者に見ていただき協力をお願いしました。

2学期中間テスト前10



▲放課後学習会の様子

中山中学校では、全国学力・学習状況調査や標準学力調査の結果が、全国平均や県平均を上回っている学年や教科が多いのですが、家庭学習の時間については、全国平均よりかなり短いことがわかりました。より高い学力をめざして、以下のように家庭学習の充実を図る取組を行っています。

(1) 放課後勉強会の取組

毎週水曜日を放課後勉強会の日と位置づけ、放課後30分〜40分間、学級ごとに課題に取り組んでいます。漢字力や単語力、計算力など基礎・基本を徹底的に繰り返す課題もあれば、発展的な課題に取り組む学級もあります。



▲赤松の荒神祭

「赤松の荒神祭」 県指定文化財に！

大山町赤松の「赤松の荒神祭」が、平成25年9月20日付けで鳥取県指定無形民俗文化財に指定されました。

赤松の荒神祭は、承応3年(1654)に大干ばつにあった赤松村で、氏神様から閏年2月2日に五穀豊穡と村の繁栄を祈って大蛇を奉納するようお告げがあり、藁で大蛇をつくって奉納したことに始まると伝えられており、今まで約360年にわたって伝承さ

れている神事です。

現在は、4年に一度、閏年3月第1日曜日に、藁でつくった大蛇を担いで集落内を巡行し、荒神さんに奉納して

います。38mあった大蛇も担ぎ手の減少や制作場の関係で現在は25mになりましたが、県内最大を誇っています。

赤松の荒神祭は、出雲から伯耆の地域で特に盛んな荒神祭に共通の特徴をよく表す一方、巨大な藁大蛇と大量の幣束(御幣)を供えること、四年の間に婿入りした男性が祈願祭に参列し、大蛇巡行では重要なシンボルを担ぐという入り婿の入村儀礼が見られるなど、独自の要素を備える特徴があり、無形民俗文化財として貴重と評価されました。

大山僧坊跡(E-33区)発掘調査 戦国時代の僧坊跡？を発見

平成25年6月から10月末の間、大山町大山に広がる大山僧坊跡の一角で、民間開発に係る事前確認のため、発掘調査を実施しました。

出土遺物などから、16世紀から17世前葉の戦国時代から江戸時代初め頃に、ここに堂舎や僧坊などの施設が営まれていたことを確認しました。

調査地はE33区と呼んでいる約2500㎡の平坦地の一部で、西側は江戸時代後期に移転建立された、大山寺南光院谷の重要な施設である「釈迦堂」の跡であり、礎石や建物基壇、多数の陶磁器類を検出しました。その東側では石列3か所のほか、銅製孔雀文馨や貿易陶磁器、国産陶器などが多数出土しました。

それらはその後他所に移されたか、あるいは廃止され、しばらくの間、土地が利用されない時期があったようですが、江戸時代後期になって再び造成されて、釈迦堂が建立されたことがわかりました。発掘調査で、孔雀文馨が出土したのは県内では初めてで、伯耆大山寺の歴史を考えるうえで大変貴重なものです。



▲検出した戦国時代頃の石列



▲出土した銅製孔雀文馨

▶現地説明会



タスキに思いを込めて！ 第8回町駅伝大会

11月17日（日）に第8回大山町駅伝競走大会が名和陸上競技場で行われました。

当日は一般から小中学生まで36チームが参加し、寒風が吹きつける中、一本のたすきを選手みんなでつなぎ、抜きつ抜かれつの接戦を展開しました。

大会結果は次のとおりです。

〔一般男子の部〕総合タイム

	チーム	タイム
優勝	大山走ろう会	37分13秒

〔一般女子の部〕総合タイム

	チーム	タイム
優勝	大山西小おふくろチーム	49分41秒



▲寒風の中、元気よくスタート

〔中学生男子の部〕総合タイム

	チーム	タイム
優勝	名和中駅伝チーム男子	36分02秒

〔中学生女子の部〕総合タイム

	チーム	タイム
優勝	元駅伝女子3年チーム☆	39分08秒

〔小学生の部〕総合タイム

	チーム	タイム
優勝	トレイス A	34分55秒

友達との一週間 ～大山小学校～



▲各班で目標を決め、毎日、振り返りをします
講師はあけまの森、桑原さん

11月10日（日）から16日（土）までの7日間、あけまの森にある大山青年の家で、大山小学校4～6年生の児童全員60人が通学合宿を行いました。この事業は本年度で14回目となりました。対象学年全員が参加する通学合宿は、全国でもめずらしいようです。

1週間、家庭を離れて洗濯や掃除などみんなで協力し、身の回りのことを行いながら学校に通いました。

また、同時期に通学合宿に訪れていた日吉津小学校とも交流ができ、子どもたちは互いに刺激し合って、貴重な時間を過ごすことができました。

警察犬と一緒に交通安全教室 ～名和保育所～

11月6日（水）、名和保育所で鳥取県交通安全母の会交通安全教室を開きました。

初めに警察官から、チャイルドシートの大切さについて話を聞き、車に乗るときは必ずチャイルドシートに座ることをみんなで約束しました。

そのあと、警察犬のカリンとフーガと一緒に横断歩道の渡り方の練習もしました。

また、交通安全教室終了後には、カリンとフーガとふれあいました。かわいらしい2匹の警察犬に、子どもたちは大興奮。かわるがわるカリンとフーガに触って「かわいいね」「おとなしいね」と、なかなかそばを離れようとしませんでした。

この交通安全教室で、子どもたちはチャイルドシートの大切さや、横断歩道の渡り方を覚えてくれたと思います。

保育所では、今後も家庭と連携しながら子どもたちの安全に気を配り、みんなが元気に保育所生活を送れるように見守っていきます。



▶みんな上手に手があがっているね

気迫と熱気に包まれて

第25回 片木杯 青少年育成剣道大会

12月8日(日)、大山中学校

校体育館を会場に青少年育成剣道大会が行われました。

町内企業の(株)片木アルミニウム製作所(片木威社長)からの寄付により運営されているこの大会には、町内

をはじめ県西部から約200人の小中学生が参加し、日頃の鍛錬の成果を競いました。

また、各部門3位までの入賞者には、同製作所がオリジナルで作成された金・銀・銅のアルミ加工の盾が贈られま

した。

大会終了後には、恒例の合同練習があり、参加者は、片木社長や各団体の指導者と一緒



▶ 間合いをはかって



▶ 永年の支援に対し、感謝状を贈りました



▶ 「そこだ! 打て」
片木社長の指導稽古

「片木杯青少年育成剣道大会」の開催にあたり、片木社長が寄稿されました

「元気」のご馳走

12月の初め、大山町青少年育成剣道大会が行われる。弊社大山工場のある地元大山町で感謝の意を込めて開催している剣道大会で、今年、25年を迎える。入賞者には弊社オリジナルのアルミ製の盾を授与する。

会場は大山中学校体育館。季節柄、館内はかなりの寒さで、外では雪や吹雪のときさえある。そんな寒い中でも、少年・少女は皆、元気いっぱい「メイン」「ドウ」「コテ」と大きな声が体育館にこだまする。そうこうするうちに、体育館内が、すき間風に負けにくいぐらいの熱気に包まれる。

この春からスポーツ少年団に入った初心者の子が、自分の身長より長い竹刀に振り回されながら、黄色い声を張り上げ、がんばっている。思わず「敢闘賞は、あの子に」と、プログラムの名簿に丸をつけてしまう。皆、愛おしい。しかし試合である以上、参加者は真剣かつ必死である。試合に負けて泣いている少女もいる。

さらにこの大会では、試合後に合同稽古と称して、参加者、審判の先生方、手伝いの先輩高校生など全員で立会い稽古を行う。私も剣道経験者なので、この稽古に参加する。が、常日頃、稽古をしていないせいか、へとへとになり、早々に



面をはずしてしまおう。情けないことに息があがり、脚もパンパンに張っていることに気づく。アキレス腱が切れないように、稽古等の準備をしておこうと毎回反省するのだが、忙しさにかまけて忘れてしまうのだ。

試合は男女別、学年別なので、参加者が少ない組は全員が入賞して、アルミ製の盾が授与される。大会終了後、その盾を大事そうにぎゅつと胸に抱き、笑顔で帰る少年・少女の「さようなら!」という元気な声を聞くと、私も自然に笑みがこぼれてしまう。

大会が終わった夜は、この季節旬を迎える松葉蟹を、地元漁師が経営している店に食べに行く。刺身、天ぷら、甲羅焼き、焼き蟹、蒸し蟹、蟹すきなど、蟹のフルコース。服を汚しながら、せっせと蟹の身をとっては、口に運ぶ。口はしゃべることを忘れ、旬の元気をわけていたのだ。

口いっぱい蟹をほおばりながら、将来、弊社に入社した青年が「10年前、剣道大会に参加したことがあるんですよ」と話してくれる場面を想像する。私にとって毎年この日は、地元から「元気」をご馳走になる至福の一日になる。

熱戦が繰り広げられました！ 町バドミントン大会

11月10日（日）、大山町バドミントン大会が大山総合体育館で行われました。当日は31チームが出場し、小学生から一般まで、各チームが熱い戦いを繰り広げました。

大会結果は次のとおりです。

- | | | |
|------|-----|--------|
| 【1部】 | 優勝 | 唐王A |
| | 準優勝 | エビまつり |
| 【2部】 | 優勝 | 唐王B |
| | 準優勝 | ねこパンチA |
| 【3部】 | 優勝 | 所子 |
| | 準優勝 | バドーズ |
| 【4部】 | 優勝 | 上万 |
| | 準優勝 | ナスパルA |
| 【5部】 | 優勝 | 妻木 |
| | 準優勝 | エビザイル |
| 【6部】 | 優勝 | ねこパンチC |
| | 準優勝 | 野田 |

- | | | |
|--------|-----|-----------|
| 【混合の部】 | 優勝 | 荘田 |
| | 準優勝 | 長田B |
| | 3位 | 坊領B |
| 【女性の部】 | 優勝 | 押平三区 |
| | 準優勝 | 中高一区ヴァレンチ |



▲荘田チームが優勝

歓声と熱気で好試合を展開！
町ソフトバレーボール大会

11月24日（日）に第9回大山町ソフトバレーボール大会が大山農業者トレーニングセンターで行われました。

当日は25チームが出場し、コート内で熱戦を展開し、互いの交流を深めました。大会結果は次のとおりです。

第9回 生涯学習大会 兼 第7回 本のあるまちづくり大会

本大会は、町民誰もが生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりを推進するために開催します。また、本のあるまちづくり大会も同時に開催し、本に親しんでいただける活動を推進します。

日時 平成26年2月2日（日）

会場 保健福祉センターなわ

○午前の部 9時30分～12時 （9時30分受付）
10時開始

◆百人一首大会 ◆親子で一緒におはなし会

○午後の部 13時～16時10分

◆講演会「夢をあきらめない」

講師 いしぐろ ゆみこ さん
石黒 由美子 さん
（北京五輪シンクロナイズドスイミング日本代表）



◆パネルディスカッション

「スポーツに親しむ環境づくり」



※当日の昼食は、恒例となりました学校給食（1食 300円）限定180食を用意しています！

※託児も設けておりますので、ぜひ親子でご参加ください！

※昼食、託児の希望は、1月17日（金）までに社会教育課へお申込みください。

（主催）大山町・大山町教育委員会

（共催）大山町小・中学校PTA連絡協議会 大山町スポーツ推進委員協議会

大山町体育協会 大山町スポーツ少年団 スポーツしよい大山

（問い合わせ先）大山町教育委員会事務局 社会教育課 ☎0859-54-5212



蔵書点検のお知らせ

蔵書点検とは、図書館を利用するみなさんに、より迅速で快適なサービスを提供するために、図書館の資料を1冊1冊蔵書の確認をし、調査処理することです。

本館・分館合わせて11万冊の本を機械で読み取り、最終的に所在不明の本を探します。

図書館本館

1月20日(月)～23日(木)

大山分館

1月27日(月)～29日(水)

名和分館

2月3日(月)～5日(水)

上記の日程で休館いたします。ご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、この間は、開館している図書館をご利用くださいますよう、ご理解とご協力をお願いします。

なお、点検期間中も、返却は受け付けますので、貸出期限の過ぎている本をお持ちの方は、返却をお願いします。

司書おすすめの本

『瞬 matataku』 柄木孝志 / 今井出版

「大山王国」ホームページ「カラッキーの大山・山陰絵日記」でおなじみ、柄木孝志さんのファースト写真集。息を呑むような山陰の美しいシーンが満載です。

柄木氏は、鳥取に暮らして10年。日々、「感動を伝えたい」の思いで未知の風景を探求し、地域活動を展開しています。大切な地域の資料として、本館、分館とも所蔵しました。

また、香取分校跡に生まれた「大山ものづくり学校」の山陰saccaと「大山王国」がコラボした『100枚の風景遺産 山陰100景ポストカード』も氏の作品です。ぜひ、家族や友人といっしょに、新しい山陰に出会ってください。(か)



1月の図書館行事

大山分館

1月25日(土)

14:00～15:00

『人形劇』

図書 のご案内

一般・文学

- ★怪物商人/江上剛
- ★小さいおじさん/尾崎英子
- ★窓際ドクター/川淵圭一
- ★たからもの/北原亜以子
- ★蛇行する月/桜木紫乃
- ★獅子の城塞/佐々木譲
- ★ささみみささめ/長野まゆみ
- ★離婚男子/中場利一
- ★探偵部への挑戦状/東川篤哉
- ★なぎさ/山本文緒
- ★○に近い△を生きる/鎌田實
- ★別れのあいさつ/丸谷才一
- ★すばらしい日々/よしもとばなな

その他

- ★一冊の本が学級を変える/多賀一郎
 - ★包丁侍舟木伝内/陶智子
 - ★右?左?のふしぎ/ヘンリ・ブルナー
 - ★3時間で編めるスヌード&マフラー
 - ★地域ブランドのつくりかた
 - ★流星ひとつ/沢木耕太郎
 - ★辞書の仕事/増井元
- #### 児童書・絵本
- ★ちかちかぴかり/ジョアンB. グレアム
 - ★わくわくする漢字/古勝隆一
 - ★光のうつしえ/朽木祥
 - ★トイプードル警察犬カリンとフーガ/中村文人
 - ★子どもに語る日本の神話/三浦佑之

自殺対策基本法

我が国における年間自殺者数は、1998（平成10）年に3万人に達して以来、14年連続して3万人を超える状況となっています。2012（平成24年）の状況を見ると、自殺者数は27,858人で、性別では男性が19,273人で全体の69・2%を占めています。年齢別では、「60代」が全体の17・9%を占め、次いで「50代」、「40代」、「30代」の順になっています。（警察庁統計）

このような状況の背景には、様々な社会的要因が関係していることから、2006（平成18）年6月に「自殺対策基本法」が公布され、自殺防止の対策が社会的な取り組みとして行われることになりました。

〈自殺防止対策法の概要〉

○目的

自殺対策を総合的に推進して、「自殺の防止」、「自死者の親族等に対する支援の充実」を図り、国民が健康で生きがいを持って暮らすことのできる社会の実現に寄与する。

○基本理念

(1)自殺が個人的な問題としてのみとらえられるべきものではなく、その背景に様々な社会的な要因があることを踏まえ、社会的な取り組みとして実施されな

ければならない。

(2)自殺が多様かつ複合的な原因及び背景を有することを踏まえ、単に精神保健的観点からのみならず、自殺の実態に即して実施されるようにしなければならぬ。

(3)自殺の事前予防、自殺発生の危機への対応及び自殺が発生した後又は自殺が未遂に終わった後の事後対応の各段階に応じた効果的な施策として実施されなければならない。

(4)国、地方公共団体、医療機関、事業主、学校、自殺防止等に関する活動を行う民間の団体その他の関係する者の相互の密接な連携の下に実施されなければならない。

この法の成立により、自殺の悲劇を防ぐために、政府と民間団体が協力し、地方自治体、関係省庁が一体となってこの問題に取り組んでいくことになりました。

（鳥取県では、昨年7月19日から、遺族の心情に配慮し、「自殺」から「自死」への変更を決めました。）

1月24日（金）の第7回人権セミナーでは、自死遺族の桑原正好さんに講演をしていただきます。

たくさんの方々の参加をお待ちしています。

大山町みんなの人権セミナー

日 時	場 所	内 容
7 1月24日（金） 14：00～	役 場 大山支所	「分かち合い～自ら逝った人の尊厳と自死遺族の人権のために」 講師 桑原正好さん（しまね分かち合いの会・虹 代表） ☆講演内容 「分かち合いのつどい」を通し、繋がり支えあうことで、故人の「死」を活かしてほしいという活動へ変化していきました。「自死」という言葉のもつ意味も、遺族が集結し声を上げたからこそ理解してもらえる社会へと今大きく変わりつつあります。 ※自死とは・・・自殺。意思的な死を非道徳的・反社会的行為と責めないでいう語。

※日程、内容などは講師の都合により変更することがあります。

- ①託児（対象は小学校入学までのお子さん）を希望される場合は、**開催日の4日前まで**にお子さんのお名前・年齢を添えて、人権推進課に申し込んでください。
- ②手話通訳を希望される場合は、**開催日の14日前まで**に人権推進課に申し込んでください。
- ③この講座は、とっとり県民カレッジの連携講座です。

申込み先 大山町人権推進課（人権交流センター内）
 ☎0859-54-2286 / FAX 0859-54-2413

【主 催】 大山町、大山町教育委員会、
 大山町人権・同和教育推進協議会

診療所
待合室

糖尿病の
食事療法

大山口診療所 久野 宣年

大山で小児糖尿病の教育キャンプが毎年開かれています。以前私も、数年間参加したことがあります。キャンプでの食事指導は大変厳しいものだと感じました。参加するのは小・中学生が中心です。各人の必要カロリーに合わせて調理された食事であることはもちろん、ご飯は自分で計測して取り、おかずも含めて糖質、蛋白質、脂質、野菜などそれぞれカロリーを計算して、各自が自分の手帳に記入します。これを毎食ごとに行います。

そして、計算した食事はいくら時間がかかろうと、嫌いなものでもすべて食べなくてはなりません。おやつも補食として1日のカロリー内に入れてあります。これを見て、糖尿病の食事療法とはこんなにも大切で大変なものなのだと思います。

この食事療法は、各人に合わせたカロリー制限と栄養バランスのよい食事をすることに主眼があります。これは現在でも当てはまります。

また最近、さまざまな糖尿病の食事療法に対する新しい考え方が出てい

ます。これは糖尿病の治療の方針に変化が出てきたことにもあります。HbA1c（血糖の平均の高さの指標）を下げるだけでなく、食後の血糖が高くならないようにして、しかも低血糖は防ごうという考え方です。食後血糖の上昇を抑えるために次のような方法を勧められています。

①食事後の血糖を上昇させる一番のものは、ご飯、パン、うどん、芋、ケーキなどの糖質です。糖質を制限すれば、肉や脂肪はかなり自由に摂ってもよいとします。おにぎりよりステーキ、カロリー制限より糖質制限というわけ

です。
②食事を食べる順番を変えて、はじめに食物繊維の豊富な野菜などを食べます。その次に、すぐに血糖の上がらない肉や魚、油ものの主菜を食べ、最後にご飯やパン、芋などの糖質を少し減らして食べる。これで食後血糖が随分下がるようです。

③ゆっくりよくかんで食べることも血糖を上げないことに有効な方法です。精白米より玄米を、食パンより固いフランスパンをゆっくりよく噛んで食べると血糖の上昇は少なくなります。

おいしく満足して食べる。しかも、食後の血糖をできるだけ上げない工夫が大切です。これらの新しい食事療法も今後認められていくだろうと思

ろくでもない 人生だけど 捨てがたい
(投稿してくださった方 立林典子さん)



(イラスト) 長谷川由美さん

自殺のサイン（自殺予防の十か条）

自殺（自死）を考えている人は悩みを抱えながらもサインを発しています。次のようなサインに気づいたら早めに相談機関に相談しましょう。

- 1、うつ病の症状に気をつけよう
- 2、原因不明の身体の不調が長引く
- 3、酒量が増す
- 4、安全や健康が保てない（今まで受けていた治療の中断、失踪、ささいなことでトラブルを起こすなどの行動が見られることがあります）
- 5、仕事の負担が急に増える、大きな失敗をする、職を失う
- 6、職場や家庭でサポートが得られない
- 7、本人にとって価値あるもの（職、地位、家族、財産など）を失う
- 8、重症の身体の病気にかかる
- 9、自殺を口にする
- 10、自殺未遂におよぶ

県作成パンフレット「生きる・つながる・支えあう」

「こころの健康カルタ」の利用について

日々の暮らしの中で大事にしたい言葉や行動が読み札になっています。心の健康づくりの一環として、このカルタを保健課で貸し出しています。使い方も説明しますので各種会合、地域の行事に活用してみませんか？

<心の健康カルタ、心の健康相談
についての問い合わせ先>
保健課 ☎ 0859-54-5206

こころの健康カルタは、心の健康について正しい知識を持つていただき、より健康な町になることを願って作成しました。

こころの健康コーナー
こころの健康に関連する内容を掲載します。



認知症

～一緒にいるから大丈夫～

「お金の計算が難しくなる編」

(画) 実重裕香さん



ハナさん



めぐみちゃん

ハナさん(70歳)は、孫のめぐみちゃんと2人で近所のスーパーマーケットに買い物に来ています。

アドバイス

認知症になると、財布の中からどれを出せば、払えるのかわかりません。とりあえず、大きなお金(お札)なら、なんとかかなると思い、お札で払うようになります。

あせらせずにゆっくり待つ、声をかけるなどちょっとした手助けをすることで、できることをひきだしてあげましょう。



認知症についてのご相談は

大山町地域包括支援センター
☎0859-54-5207

地域の健康づくりをTUNAGU(繋ぐ)講習会

参加者募集のお知らせ

健康を支え守るためには、地域の繋がりの強化と健康づくり活動にかかわる人の増加が必要です。長野県が長寿日本一となった背景には、食生活改善推進員による減塩活動が大きく寄与しており、あわせて高齢者や単身者の社会性の維持と住民同士の繋がりが、生きる力の活力になっていると報告されています。

大山町でもその例にならい、町民のみなさんと一緒に健康寿命をのばすことを目的に講習会を行います。ぜひお問い合わせご参加ください。

- ◆日時 1月20日(月) 10:00～
- ◆場所 保健福祉センターなわ
- ◆対象 40歳から70歳代の方
- ◆テーマ 「減塩」と「野菜ワンプレート」
- ◆内容 食生活改善推進員による講話、調理実習など
- ◆定員 30人
(定員になり次第締め切ります)
- ◆締切 1月14日(火)
- ◆参加費 無料
- ◆携行品 エプロン、三角巾、筆記用具、ご家庭の汁物(塩分測定をします)
- ◆申込み先 保健課内 食生活改善推進員協議会事務局 0859-54-5206

表彰受賞

おめでとうございます



厚生労働大臣表彰



10月11日(金)、全国食生活改善大会(鹿児島県鹿児島市)で、荒金恵美子さん(佐摩)が厚生労働大臣表彰を受けられました。

荒金さんが食生活改善推進員として、地域住民の食生活改善意識の浸透に努め、多年にわたり町協議会や県組織の重役として積極的に会の運営に携わってこられた功績を称えられたものです。

社会教育功労者表彰



11月14日(木)、今年度の社会教育功労者表彰(文部科学省)の受賞者が発表され、大山町では富長源十郎さん(富長中)が受賞されました。

富長さんは、昭和62年の名和町同和教育推進協議会の発足以来、20年以上にわたり会長として地域の人權・同和教育の推進に努められました。今回の表彰は、その活動によって、地域住民の人權意識を高めることに貢献されたことが評価されたものです。

全国社会教育委員 連合表彰



10月24日(木)、第55回全国社会教育研究大会(三重大会)で、後藤史朗さん(御来屋3区)が、一般社団法人全国社会教育委員会表彰を受賞されました。

後藤さんは、平成10年旧名和町時代に就任され、合併後の現在までの15年間余り社会教育委員として、本町の社会教育の振興に尽力をいただいています。

交通安全表彰

11月12日(火)にとりぎん文化会館で行なわれた第45回鳥取県交通安全対策協議会(鳥取県知事賞)賞を始めとした交通安全の表彰がありました。

大山町からは松田豪紀さん(みどり区)、佐伯照博さん(御来屋1区)、岩本正人さん(植松)、上村章子さん(駅前)、佐伯堅さん(束積)が受賞されました。



▶(後列左から)松田豪紀さん、佐伯照博さん、岩本正人さん、(前列左から)上村章子さん、佐伯堅さん

「車いす」を 寄贈いただきました ました



▲大切にに使わせていただきます

このたび、米子市淀江町の(株)キンタカふくしサービスセンター(金高拓夫代表取締役社長)から「必要な方に、自由に使っていただきたい」と、軽くて使いやすい最新型の車いすを寄贈いただきました。ありがとうございます。さっそく、名和公民館玄関に置かせていただきました。



みんなで楽しむイベントを

〜退休寺〜

10月19日(土)、退休寺で、コイやフナを捕まえる行事がありました。退休寺では水利委員が中心となってため池を管理し、魚を放流して育てています。秋になるとみんなで魚を捕まえて料理し、集会所で食事をしています。この行事は今年で3回目になるそうです。

当日は、子どもから大人まで約30人が参加し、泥だらけになりながら魚を捕まえて、

「おいしい」と好評でした。集会所の外では、バーベキューも行われ、にぎやかな食事にまりました。

退休寺区長の山下敏雄さんは「集落内でも顔を合わせる機会を大切にしていきたく」と話されました。



▲「おいしいね」話はずみずみ



▲参加者のみなさん

碁に夢中！
子ども交流囲碁大会

11月16日(土)に囲碁を盛んにする会主催で「第1回大山町子ども交流囲碁大会」が名和公民館で行われました。

町内の小学生14人が参加し、A級6人とB級8人に分かれて13路盤で5回戦を戦いました。

結果は次のとおりです。



【A級】
優勝

野口優妃
(中山小2年)

準優勝

井上英明
(中山小3年)

第3位

広沢憲大
(名和小4年)

【B級】
優勝

中村薫平
(大山西小6年)

準優勝

田宮寛朗
(中山小1年)

第3位

入江駿楓
(大山西小6年)

11月3日(日)、特別天然記念物オオサンショウウオが、松河原地内の宮川下流で、蟹力ゴに入り込んだ状態で発見されました。

宮川の下流でオオサンショウウオ発見！

11月3日(日)、特別天然記念物オオサンショウウオが、松河原地内の宮川下流で、蟹力ゴに入り込んだ状態で発見されました。



▶世界最大級の両生類です

日ごろの活動の成果を披露

名和公民館 サークル発表会

11月24日(日)、保健福祉センターなわで、名和公民館サークル発表会が開かれました。

近年で最も多い14サークルのステージ発表と5サークルの展示が行われました。ステージ発表では、観客も一緒に歌ったり、体を動かしたりして参加できるものも多く、大変盛り上がりました。



▲体全体を使っのびのびと(3B体操名和教室)

ロビーでは、食生活改善推進協議会名和支部による「五

ごみの分別コーナー

正しいごみの分別に、 ご理解とご協力を！！ (2)

大山町では資源ごみを6種に区分（古紙類、紙製容器包装、缶・びん、指定びん、発泡スチロール、ペットボトル）し、ごみの再資源化に取り組んでいます。

資源ごみは収集・選別の後、各資源回収業者に売却され、再資源化されます。

そして売却で得られる収入は、資源ごみ処理費用に充てられており、町の貴重な財源です。

正しい分別をしていただくことで、選別費用を減らし、事業者への売却が円滑になります。

資源ごみの分別に、住民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

きちんと分別



○缶・びん

- ・中を洗ってから出してください。
- ・ボトル缶のキャップや、びんのふたは不燃ごみに出してください。
- ・スプレー缶は、10月から不燃ごみになっています。

- ①空き缶・・・中身を空にして洗って、つぶさずに出してください。
※次のものは、不燃ごみ（ごみ袋に入らないものは不燃粗大ごみ）に出してください。
- ・ひどくさびた缶
 - ・スプレー缶、カセット式ガスボンベ
 - ・オイル（機械油）缶、ワックス缶、ペンキ（塗料）缶
- 中身を空にしてふたを外し、底に穴を開けてから不燃ごみに出してください。

- ②空きびん・・・中身を空にして洗ってから出してください。
割れたびんも、「缶・びん」として一緒に出せます。



○指定びん

国内大手ビールメーカーのビールびんのみが対象です。
※地ビールのびん、酒の一升びんなどは、『缶・びん』に出してください。
※ラベルはつけたまま出してください。ひびのはいったもの、割れたもの、ラベルのないものは『缶・びん』に出してください。

詳しくは、お配りしました分別ポスター『家庭ごみの分け方・出し方』、ホームページに掲載の『ごみ分別収集の手引き』、ごみの区分と出し方』をご覧ください。
住民生活課へお問い合わせください。

◆問い合わせ先

住民生活課 0859 - 54 - 5210

大山町循環型 森林資源活用計画を策定



▲町長に答申する小谷会長（中央）と船田会長代理（右）

森林資源を守り、水緑豊かに、農林水産業の振興を

大山町は、豊かな森林資源を守り、これらを農業、林業、水産業など様々な分野に循環させて農林水産業の振興を図る計画について大山町農林水産振興審議会（小谷茂会長・委員10名）に諮問を行いました。

審議会では、慎重な審議を重ね大山町循環型森林資源活用計画として平成25年10月17日に同審議会から森田町長へ答申書が渡されました。

町では、この答申を基に町民共有の財産である森林資源を守り、循環させて森林の有する多面的機能の高度な発揮や農林水産業の振興を図っていきます。この計画は、町ホームページまたは農林水産課でご覧いただけます。

◆問い合わせ先

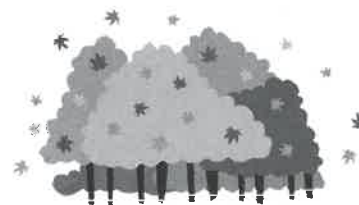
農林水産課

☎ 0858・58・6116

間伐をしましょう！！

間伐等促進法に基づき、町内での間伐等の促進を図るため、町内全域の民有林を対象として「大山町特定間伐等促進計画」を作成しました。

この計画に定める民有林において、森林環境保全整備事業（造林事業）の補助があります。補助内容は次のとおりです。



<注意事項>

- 事前申請ですので、事前着手は補助対象外になります。
- 事業年度は平成25年度から平成32年度までです。（作業区分によっては、平成26年度からとなる場合があります。）
- 作業区分のうち、間伐を除き、0.1haから申請できます。
- 個人の場合でも、作業を委託される場合でも、補助対象になります。
- 補助申請及び作業委託の申し込み先は大山森林組合です。

【参考】 1反=0.1ha=10アール=1,000㎡

補助率	事業費の4割 (事業費は鳥取県で定められる標準単価を適用します。) 事業費=標準単価×面積×1.7 (「特定間伐等促進計画」に定められていることで、1.7をかけることができ、実質68%の補助となります。)
作業区分	補助対象要件等
新植(植林)	1反当たり150本以上の植栽
下刈り	植栽年から必要に応じて10年生まで
除伐	下刈り終了から25年生まで
間伐	26年生から 5ha以上の面積かつ 10㎡/ha以上の間伐材搬出
枝打ち	30年生まで
雪起こし	2年生から10年生まで

◆問い合わせ先

大山森林組合 ☎ 0859-53-4935
農林水産課 ☎ 0858-58-6116

20歳になったら国民年金!

日本国内に居住している20歳から60歳までの方は国民年金の被保険者となります。20歳になれば、厚生年金保険や共済組合加入者（またはその配偶者に扶養されている人）を除き、国民年金第1号の加入手続きが必要です。

国民年金加入手続きとその流れ

1 「国民年金資格取得届」を提出してください

・20歳の誕生月の前月に日本年金機構から送られる「国民年金資格取得届」に必要な事項を記入し、役場または年金事務所に提出してください。

・同時に、保険料の若年者納付猶予制度や学生納付特例制度の申請書を提出することもできます（学生納付特例制度の申請をされる場合は、学生であることの証明が必要です）。

2 「年金手帳」が届きます

・保険料納付の確認や将来年金を受け取る際に必要です。大切に保管してください（厚生年金保険の加入者だった方、共済組合に加入していた方等には送られません）。

3 「国民年金保険料納付書」が届きます

・納付書で保険料を納めてください（ご自身の誕生月の前日が含まれる月の分からの保険料）。

・保険料は金融機関のほか、コンビニエンスストアでの納付、電子納付もできます。また、口座振替やクレジット納付も可能です。

◆問い合わせ先

米子年金事務所
☎0859・34・6111

本庁住民生活課

☎0859・54・5210
大山支所総合窓口課

☎0859・53・3311
中山支所総合窓口課

☎0858・58・6114

鳥取県西部広域行政管理組合の入札参加資格および入札案件公表について

鳥取県西部広域行政管理組合が発注する指名競争入札に参加するには、組合を組織する市町村（米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町）のいずれかで、指名競争入札に参加する資格を有することが必要です。入札参加資格をお持ちでない場合は、いずれかの市町村で手続きをしてください。

なお、組合の入札案件は、組合ホームページ（<http://www.tottori-seibukokai.jp/>）にて公表されます。

◆問い合わせ先

鳥取県西部広域行政管理組合事務局総務課

☎0859・22・7722

ミツバチを飼育されている

皆さまへ

〜飼育届の提出をお願いします〜

養蜂振興法が一部改正され、養蜂業者の方だけでなく

ミツバチを趣味で飼育されて

いる方も、毎年1月中旬に飼育

状況および飼育計画を提出し

ていただく必要があります。

*提出先及び飼育届の様式

が、変更されましたので、ご

注意ください。

◆届出先

〒683・0054 米子市

糀町1・160

鳥取県西部総合事務所農林局

届出先でも配布しています。

農林業振興課

☎0859・31・9642

※問い合わせは、鳥取県西部家畜保健衛生所（電話

0859・62・0140）でも受け付けます。

◆提出期限 1月31日

◆届出様式 鳥取県庁畜産課

ホームページ

<http://www.pref.tottori.jp/66459.htm>

とっとり・しまね 参加無料 企業ガイダンスがあります

【東京会場】

日時 1月12日（日）
13:00~16:00
場所 東京都立産業貿易センター
台東館5階「展示室」

【広島会場】

日時 1月18日（土）
13:00~16:00
場所 基町クレド11階
「NTTクレドホール」

問い合わせ先
公益財団法人ふるさと定住機構
0120-30-7238（フリーダイヤル）

道路交通法一部改正の施行

平成25年12月1日に道路交通法一部改正が施行されました。

1. 無免許運転に関する罰則の強化

無免許運転をすると・・・

【改正後】

3年以下の懲役、または50万円以下の罰金

○無免許運転を助長する車の提供・同乗の罰則の新設

車両提供

3年以下の懲役、または50万円以下の罰金

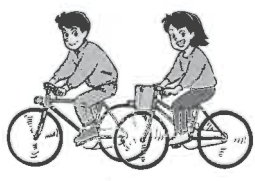
要求・依頼

2年以下の懲役、または30万円以下の罰金

2. 自転車の運転に関するルールの変更

①自転車が道路右側の路側帯を通行することが禁止されました。

これまででは、自転車などの軽車両は、歩道がない道路の左側と右側にある路側帯どちらでも通行することができまし



たが、改正後は、左側の路側帯しか通行できません。3か月以下の懲役、または50万円以下の罰金

②警察官による運転中止命令など、ブレーキ不良自転車に対する指導が強化されました。

○警察官は、所定の安全基準を満たしているブレーキ(制動装置)を備えていないと認められる自転車を停止させ、その自転車のブレーキについて検査することができます。○ブレーキの整備不良やブレーキの整備などの応急措置をとることもや運転の中止を命

じることができません。警察官による停止や命令に従わなかったり、検査を拒否・妨害すると、50万円以下の罰金

1月10日は「110番の日」

事件・事故は110番



適正な110番の利用を！

警察では、皆さまから通報があった緊急な事件・事故などの110番通報を受け、パトカーを現場に向かわせ事案の処理に当たります。

110番は緊急通報です。

※問い合わせや相談は警察総合相談電話(＃9110)、または八橋警察署(0858・49・0110)へお願いします。

「災害時協力井戸」を募集します

募集します

災害が発生し、水道の給水が停止したときに、被災者の方々の生活用水として無償で井戸水を提供していただける協力者を募集します。

東日本大震災では、最大約5か月の期間、水道水の供給が停止しました(津波被災地区を除く)。このとき、井戸所有者が井戸を一般開放し、地域住民が生活用水を確保した事例が見られました。

大規模震災が発生したときは、飲み水の確保が最優先となり、トイレ・洗濯・掃除などの生活用水に使用する水が不足する恐れがあります。

鳥取県では、町村と協力して、災害の際に井戸水をトイレ・洗濯・掃除などの生活用水として提供していただける井戸の登録をすすめます。登録にあたっては、井戸水を無料で検査します(条件があります)。

井戸を所有の県民の皆さま、事業者の皆さまのご協力をお願いします。詳細については、お問い合わせください。

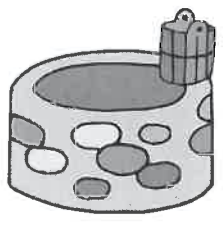
◆受付開始日

平成26年1月6日(月)から

◆問い合わせ先

役場総務課
☎0859・54・5201
鳥取県生活環境部水・大気環境課
☎0857・26・7402

あなたの井戸がみんなの助けになります



1

2014. January



広報だいせん 大山町行事カレンダー

主な連絡先

- 大山町役場 (本庁)
Tel. 0859 - 54 - 3111 (代表)
総務課 Tel. 0859 - 54 - 5201
税務課 Tel. 0859 - 54 - 5208
住民生活課 Tel. 0859 - 54 - 5210
会計課 Tel. 0859 - 54 - 5209
企画情報課 Tel. 0859 - 54 - 5202
議会事務局 Tel. 0859 - 54 - 5213
- 中山支所
Tel. 0858 - 58 - 6111 (代表)
総合窓口課
戸籍・住民関係 Tel. 0858 - 58 - 6114
福祉関係 Tel. 0858 - 58 - 6112
農林水産課 Tel. 0858 - 58 - 6116
農業委員会 Tel. 0858 - 58 - 6115
地籍調査課 Tel. 0858 - 58 - 6113
- 大山支所
Tel. 0859 - 53 - 3311 (代表)
総合窓口課 Tel. 0859 - 53 - 3311
建設課 Tel. 0859 - 53 - 3186
観光商工課 Tel. 0859 - 53 - 3110
(一) 大山恵みの里公社 Tel. 0859 - 54 - 6600
- 名和分庁舎
水道課 Tel. 0859 - 54 - 5204
- 人権交流センター
人権推進課 Tel. 0859 - 54 - 2286
- 保健福祉センターなわ
保健課 Tel. 0859 - 54 - 5206
福祉介護課 Tel. 0859 - 54 - 5207
地域包括支援センター Tel. 0859 - 54 - 2226
- 福祉センターなかやま
Tel. 0858 - 49 - 3000
- 保健福祉センターだいせん
Tel. 0859 - 39 - 5018
- 中山農村環境改善センター
Tel. 0858 - 58 - 6124
- 教育委員会
学校教育課 Tel. 0859 - 54 - 5211
幼児教育課 Tel. 0859 - 54 - 5219
社会教育課 Tel. 0859 - 54 - 5212
- 教育研究所
Tel. 0859 - 54 - 5221
- 中山公民館
Tel. 0858 - 58 - 2334
- 名和公民館
Tel. 0859 - 54 - 2688
- 大山公民館
所子分館 Tel. 0859 - 53 - 3003
大山分館 Tel. 0859 - 53 - 8139
高麗分館 Tel. 0859 - 53 - 4167
- 町立図書館
Tel. 0858 - 49 - 3010
名和分館 Tel. 0859 - 54 - 2688
大山分館 Tel. 0859 - 53 - 3003
- 小・中学校
中山小学校 Tel. 0858 - 58 - 2439
名和小学校 Tel. 0859 - 54 - 2070
大山西小学校 Tel. 0859 - 53 - 3228
大山小学校 Tel. 0859 - 53 - 3104
中山中学校 Tel. 0858 - 58 - 2014
名和中学校 Tel. 0859 - 54 - 2024
大山中学校 Tel. 0859 - 53 - 3020

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	元日 元旦マラソン 10:00~ 名和神社	2	成人式 13:30~ 保健福祉センターなわ	4
5	6	7	人権相談 9:00~12:00 人権交流センター 13:00~16:00 大山公民館 行政相談 9:30~12:00 名和公民館 保育所開放日 10:00~11:00 各保育所・保育園 ほのぼのたいむ 10:00~11:30 子育て支援センターなかやま	9	3B体操 9:30~11:00 中山農村環境改善センター 育児学級 10:00~11:30 子育て支援センターだいせん	11
12	13	14	行政相談 9:30~12:00 福祉センターなかやま 心配ごと相談 9:30~12:00 各福祉センター 農業委員相談日 13:30~15:00 名和公民館	16	3B体操 9:30~11:00 保健福祉センターだいせん	18
19	20	21	法律相談 9:30~11:30 保健福祉センターだいせん 保育所開放日 10:00~11:00 各保育所・保育園	23	3B体操 9:30~11:00 中山農村環境改善センター 育児学級 10:00~11:30 子育て支援センターなかやま 大山町みんなの人権セ ミナー⑦ 14:00~ 大山支所	25
26	27	28	赤ちゃんサロン 10:00~11:30 子育て支援センターなかやま	30	健康相談 13:30~14:00 (受付) 保健福祉センターなわ ※前日までに要予約 どんぐり広場 10:00~11:30 子育て支援センターだいせん	1
初詣ウォーク 9:00~ 人権交流センター 仮装して滑走大会 11:00~14:00 だいせんホワイトリゾート (中の原エリア)	人権相談 13:30~16:00 中山支所 認知症の人と家族の会 14:00~15:30 保健福祉センターだいせん	おはなしの会 10:30~11:30 子育て支援センターなわ			3B体操 9:30~11:00 保健福祉センターだいせん 育児学級 10:00~11:30 保健福祉センターなわ	

*子どもの健診・予防接種・各種がん検診の日程は裏面をごらんください。

1月1日～2月10日までのお知らせを載せています。

子どもの健診のお知らせ

種別	月日	場所	受付時間	対象	その他
健診	乳幼児健診	2月7日(金)	保健福祉センターなわ	13:00～14:30	3か月～2歳6か月 母子健康手帳をお持ちください。
歯科	歯科検診 フッ素塗布	1月17日(金) 1月20日(月)	保健福祉センターだいせん	13:00～13:30	1歳～小学校就学前の幼児(6か月に1回受ける) 歯のアンケート、フッ素手帳、歯ブラシ、コップをお持ちください

※1歳6か月児・3歳児健診についての注意事項

お住まいの各地区(大山・名和・中山)で受けることが基本になります。他の地区でも受けられますが、その場合申し込みが必要になります。保健課にご連絡ください。

健康づくり、健康相談、介護予防教室のお知らせ

種別	月日	場所	時間	内容
3B体操	1月10日(金) 1月24日(金) 2月7日(金)	中山農村環境改善センター	9:30～11:00	ストレッチ体操、ベル・ベルダー・ボールを使って音楽にあわせ体を動かします。運動のできる服装で水分をお持ちになり、お出かけください。
	1月6日(月) 1月20日(月) 2月3日(月)	保健福祉センターなわ	9:30～11:00	
	1月17日(金) 1月31日(金)	保健福祉センターだいせん	9:30～11:00	
大山町包括支援センター 医師健康相談	1月30日(木)	保健福祉センターなわ	(受付) 13:30～14:00 ※前日までにご予約ください。	骨密度測定、骨に関する相談。医師・保健師・栄養士による各種疾病の相談。どなたでも利用できますのでお出かけください。
認知症の人と家族の会	1月20日(月)	中山農村環境改善センター	10:00～12:00	介護で疲れていませんか?日頃の悩みを話し合い、励まし合う時間を持ちましょう。お気軽にご参加ください。
	1月27日(月)	保健福祉センターだいせん	14:00～15:30	

その他の教室・相談のお知らせ

種別	月日	場所	時間	対象	内容
大山町ゆくぞ! イクメン講座	1月13日(月)	保健福祉センターなわ	(受付9:30～) 10:00～12:00	プレパパと妊産婦、どなたでも	①笑っているパパになろうセミナー 講師:小崎恭弘さん (神戸常盤大学准教授) ②ママのリフレッシュセミナー 講師:小林友里さんほか ※詳しくはチラシをご覧ください
育児学級	1月10日(金)	子育て支援センター だいせん	(受付9:30～) 10:00～11:30	保育所(園)に行っていない親子	絵本の読み聞かせ 1月季節のあそび
	1月24日(金)	子育て支援センター なかやま	(受付9:30～) 10:00～11:30		
	1月31日(金)	保健福祉センターなわ	(受付9:30～) 10:00～11:30		

☆あそびにおいでよ!大山町地域子育て支援センター
利用時間 月曜日～金曜日(祝日、年末年始は除く)
9:00～12:00
13:00～16:00

※連絡先
子育て支援センターなかやま(中山みどりの森保育園内) TEL0858-58-6062
子育て支援センターだいせん(大山きやらぼく保育園内) TEL0859-53-1157
子育て支援センターなわ(大山町ふれあい会館) TEL0859-54-2395

○子育て中のふれあいの場として、保護者同伴で自由に楽しむことができます。(おもちゃ・絵本・遊具あり)
○行事はどなたでも参加できます。
○いつでも子育て相談できます。(個別相談:申し込みが必要です)
○たんぽぽ通信(月1回発行)

心の健康相談・事業のお知らせ

種別	月日	場所	時間	内容
デイケア	1月9日(木)	保健福祉センターなわ	10:00～13:00	調理実習
	1月23日(木)	保健福祉センターだいせん	13:30～15:30	書初め
	2月6日(木)	保健福祉センターなわ	10:00～13:00	調理実習

心の病気をもちの方が、家から一歩出て交流や活動のできる場です。

大人の健(検)診のお知らせ

○該当の世帯には4月下旬から5月上旬にかけて、健診の対象・利用料金等のご案内や受診に必要な用紙等をお届けしていますのでご確認ください。

【個別健(検)診】対象などは、集団健(検)診と同じです。

◎子宮がん・乳がん検診 医療機関に委託して行っています。なお、2月末までが期限ですので、お早目にご予約ください。

*医療機関によって実施時期が異なりますので、詳しくは「大山町各種健診(検診)について」をごらんください。

【国民健康保険 人間ドック】

*人間ドックは2月末までが期限です。まだ医療機関に申し込まれていない方は、お早目にご予約ください。

今年度ラストチャンス!

補足健診(検診)を実施します

健診を受けそびれた方は、ぜひこの機会に受けられますようご案内します。
なお、健康診査・胃がん検診・乳がん検診は、人数に限りがありますのでお早目に予約ください。
ご希望の方は保健課へご連絡ください。受付は1月6日(月)から開始します。
必要書類等は、「平成25年度大山町各種健診(検診)について」をご参照ください。

◆問い合わせ先 保健課 ☎0859-54-5206

日時	場所	内容	予約締切 なお、定員になりしたい 締め切ります。
2月5日(水) 8時～	保健福祉センターなわ	健康診査 胃がん検診 肺がん検診 大腸がん検診 前立腺がん検診 子宮がん検診 乳がん検診 肝炎ウイルス検査	1月29日(水)
2月14日(金) 8時～			2月7日(金)

(問い合わせ・相談先)

☆子どもの健診・予防接種、健康診査、各種がん検診、健康相談、心の相談、健康づくりなどに関することは
保健福祉センターなわ内 保健課
TEL 0859-54-5206
FAX 0859-54-5087

☆介護保険、介護予防などに関することは
保健福祉センターなわ内 地域包括支援センター
TEL 0859-54-2226
TEL 0859-54-5207

大山恵みの里だより vol. 72

問い合わせ先
大山恵みの里公社
☎0859-54-6600

セミナーで スキルアップを

11月27日・12月4日の2日間、県西部総合事務所・大山町農商工連携サポートセンターなどが共催する6次産業化支援セミナーが米子コンベンションセンターで開かれました。

▲グループ討議の発表



発想法・価格設定の考え方を学びました。2日目は「販路開拓（商談会対策）セミナー」と題して、営業活動の基本的なステップ・商談会に必要な準備事項や、相手の心をつかむポイントなどを学びました。講義の後は、実際に参加者が「売り込み役」と「バイヤー役」に分かれて模擬商談を行い、研鑽を深めました。参加者からは「具体例が多くなりやすかった」「商談練習は大切だと思った」などの感想が寄せられました。今後さまざまなセミナーが予定されていますので、積極的にご参加ください。

パッケージング

セミナーのお知らせ

加工食品のパッケージ（包装材料）やデザインについて学ぶセミナーを開催します。

◆日時 1月23日（木）

13時～16時30分

◆会場 保健福祉センターなわ

◆問い合わせ先

大山恵みの里公社

☎0859・54・6600

元旦マラソン大会

新年の幕開けをマラソンで！初詣をしてからスタートします（参加無料、申込不要）。

◆日時 1月1日（祝）

10時集合

◆場所 名和神社駐車場発着

◆コース 2km、6km

◆問い合わせ先

教育委員会社会教育課

☎0859・54・5212

初詣ウオーク

参加者募集

庄内地区7つの神社に開運を祈願しながら、ウォーキングを楽しみませんか？

◆日時 1月26日（日）

9時集合・出発

◆集合場所 人権交流センター（茶畑1077・3）

◆コース 約10km

◆参加費 無料

◆主催 名和友歩会・

スポーツしよい大山

※申込は不要です。動きやすい服装でお集まりください

※雨天決行

※雨天決行

大山チャンネル 番組放送予定

1月 1日～31日

デジタル 113ch

アナログ 3ch

●テレビの電子番組表（EPG）と大山町ホームページで内容をご確認いただけます。

●番組開始時間

番組開始時間	5:50 / 11:50 / 14:50 / 19:50	6:00 / 12:00 / 15:00 / 20:00 / 24:00	7:00 / 13:00 / 16:00 / 21:00 / 25:00
1月 1日～1月10日	【大山賛歌体操】 介護予防編 健康づくり編	じげとびっく1月号1	じげとびっく12月号3
1月11日～1月20日		じげとびっく1月号2	じげとびっく1月号1
1月21日～1月31日		じげとびっく1月号3	じげとびっく1月号2

番組以外の時間帯は、文字情報で行政情報を提供しています。番組の内容は都合により予告なく変更することがありますのでご了承ください。

【年末年始特別番組のご案内】 12月27日～1月10日放送

●大山町総合文化祭2013ダイジェスト

[時間] 9:00/14:00/19:00

●おかある星野らぶれ～すさん、小学校でコンサート

[時間] 10:00/18:00/22:00

◆問い合わせ先

企画情報課

☎0859-54-5202



グリーンカーテン賞
河崎幸枝 (松河原)

グリーンカーテン賞
中川進・喜美子 (御来屋7区)

平成25年
花づくりコンクール
受賞作品発表② (敬称略)

大山町では、道ゆく人が楽しめるような四季折々の花づくりをしておられる団体・個人の方々を表彰する「花づくりコンクール」を行っています。みなさんも花づくりを楽しみませんか?



景観賞
名和公民館

優良賞
中山口老人クラブ

優秀賞
佐伯綾子 (阿弥陀山)

サービス付き高齢者向け住宅
サンライズ シニアハウス

入居申し込み
受付中



サンライズシニアハウスは、プライベート空間を守りながら利用者様同士の交流や共同生活を楽しむ工夫と医療と介護の安心サポートがあります。すぐ隣に有床診療所もあり、急な体調変化や日常的な健康管理面も24時間安心です。また、訪問介護・訪問看護・訪問リハビリサービス等がご希望に応じてご利用いただけます。住宅内にはデイサービスも併設しており、介護サポートも充実しています。

ご入居・ご見学のお問い合わせは
サンライズシニアハウス TEL 0859-54-5156

大山町富長848-1
キマチ・リハビリテーション医院 すぐ横

広告

編集後記

1月号をお届けします。今月の表紙は、大山きやらぼく保育園の子どもたちに飾ってもらったことにしました。会場の遊戯室は、詰め掛けた保護者でいっぱい。私のほうが、うまく撮影できるかドキドキ。写真つきの年賀状をイメージしてみました。いかがでしょう?平成26年も「広報だいせん」をよろしくお願ひします。(ひろ)

広告

過払い金 無料で お調べいたします!

借金ご返済の方、ご返済中の方も、過払い金があるかもしれません。一度お調べになりませんか。何社でも無料で引き直し計算いたします。

秘密厳守!

着手金は **0円**

無料個別相談会随時開催!!

米子国際ファミリープラザ6F (やくも司法書士法律事務所)

ご来所できない方、個別に出張相談をお電話にて受け付けます。

予約制 (ファミリーに配慮し、お昼と夕方のみ開催です。)

▼ご相談のご予約はコチラ!▼

【通話料無料】 やくもに キュウコー

0120-892-095

相談無料

代案 石井信樹 TEL 0859-30-4242 (鳥取県司法書士会所属 司法書士番号6120112)

F683-0823 米子市富長町2丁目1-80 米子国際ファミリープラザ608号室

※本サービスは、お電話にてお問い合わせください。お電話にてお問い合わせの際は、お名前とお電話番号をお知らせください。

大山町広報1月号 No.125

◆発行：大山町役場
◆編集：企画情報課
*eメール kikaku@daisen.jp

鳥取県西伯郡大山町御来屋328番地
TEL 0859-54-3111
FAX 0859-54-5216
大山町ホームページ <http://www.daisen.jp/>
◆印刷：有限会社米子プリント社

私たちのまち (12月1日現在)

○人口: 17,415人 (-47)

男: 8,330人 (-22)

女: 9,085人 (-25)

○世帯数: 5,740世帯 (-5)

今月の税・保険料

- ・町県民税 (4期)
- ・国民健康保険税 (4期)
- ・介護保険料 (4期)
- ・後期高齢者医療保険料 (4期)

納期限 **1月31日(金)**

※期限までに納めましょう